

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

久慈市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岩手県久慈市

3 地域再生計画の区域

岩手県久慈市の全域

4 地域再生計画の目標

当市は、岩手県の沿岸北部に位置しており、東側は太平洋に面し、三方を山に囲まれています。総面積(624km²)の約9割が林野であり、海にも面していることから、一次産業が基幹産業となっています。

観光面においては国内有数の産地である「琥珀」やNHK連続テレビ小説「あまちゃん」で活躍した「北限の海女」など地域特有の資源を活用しております。

当市の人口は、1960年の45,025人をピークとして、減少を続けており、国勢調査によると2015年に35,642人となっています。住民基本台帳によると、2021年3月末には33,713人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は2045年には23,950人になることが見込まれています。

当市の年齢3区分別の人口推移をみると、年少人口は1960年から減少を続け、2015年の年少人口は、1960年の約25%まで減少しています。老年人口は、生産年齢人口が順次老年期に入り、また、平均寿命が延びたことから一貫して増加を続け、2015年の老年人口は、1960年の約4.5倍となっています。生産年齢人口は、1985年まで増加していましたが、それ以降は減少に転じています。また、年齢3区分別の人口割合をみると、2015年時点の老年人口比率は、全国平均の26.6%に比べて、当市では29.6%と高くなっています。一方で、生産年齢人口比率は、全国平均の60.8%、岩手平均の58.0%に比べて、当市は57.8%と低くなっています。年少人口比率は、1965年前後は全国平均10ポイント以上高かった

ものの、2015年時点では、全国平均の12.5%に比べ、当市は12.6%となっており、その差が縮小しています。

自然動態をみると、母親世代の人口の減少や出生率の低下により、一貫して出生数が減り続ける一方で、高齢化が進み、死亡数が増加しています。2002年以降、死亡数が出生数を上回る自然減となっており、2017年において、出生数223人、死亡数482人と▲259人の自然減となっています。

社会動態をみると、1985年以降、転出が転入を上回る社会減となっています。2017年において、転入者783人、転出者1,106人と、▲323人の社会減となっています。年齢階級別の転入・転出状況についてみると、10歳代後半から20歳代前半の年代は転出超過であり、一方、20歳代後半の年代は転入超過となっています。これらは、高校や大学への就学や就職に伴う転出、及び大学卒業後のUターン就職に伴う転入の影響が考えられます。また、当市は東日本大震災や平成28年台風第10号、令和元年台風第19号と立て続けに甚大な被害を受けており、復旧・復興は順調に進んでいるもののまだ途中段階にあります。

一方、人口減少や少子高齢化は年々深刻化しており、この状況が続けば、地域経済の衰退、産業活動の担い手不足、医療及び福祉・介護サービスの需要増加及び当該需要に応える労働力不足、地域文化の衰退、地域公共交通の維持困難、地域コミュニティの活力低下、税収減少等の影響が生じる恐れがあります。人口構造の変化による様々な問題への対応が必要となっており、地域社会に大きな影響を与えています。

当市が抱える地域課題を解決し、人口減少と地域経済縮小の克服、さらにはまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向けて、本計画期間中、次の政策分野を掲げ、各種施策に取り組みます。

〈政策分野〉

政策分野① 安定した雇用の創出

政策分野② 結婚・出産・子育てへの支援

政策分野③ 久慈市への人の流れづくり

政策分野④ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	1人当たりの課税所得	2,707千円	3,000千円	政策分野①
	市内総生産	1,298億円	1,227億円	
イ	出生数	172人	219人	政策分野②
ウ	社会増減数	-247人	-63人	政策分野③
	観光客数	62万人	82万人	
エ	市民満足度アンケート平均値	2.992.84	3.14	政策分野④

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

久慈市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安定した雇用の創出事業

イ 結婚・出産・子育てへの支援事業

ウ 久慈市への人の流れづくり事業

エ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり事業

② 事業の内容

ア 安定した雇用の創出事業

- 市の産業を担う人材の確保

市の産業を担う人材の確保につなげるため、キャリア教育の推進や企業の人材育成支援、地元定着につながる支援など各種就業支援を充実し、若者の定着を促進します。

○やりがいのある安定した雇用の創出

人口減少が進展するなかで産業活動を維持するため、次世代の技術等を活用し労働生産性を高めるとともに、基幹産業の強化や新業種の産業を創出し、地域経済の発展を図ります。

【具体的な事業】

- ・第1次産業の強化
- ・地域産業の育成
- ・安定した雇用の場の創出
- ・医療、介護福祉の需要増加に対応した労働力の確保
- ・誰もが活躍できる就業・創業支援の充実
- ・教育界と産業界が一体となったキャリア教育の推進 等

イ 結婚・出産・子育てへの支援事業

○希望に沿った結婚・出産・子育てが実現できる社会の構築

次世代を担う若い世代が安心して働き、希望どおり結婚・出産・子育てをすることができる社会を実現します。

○子どもがのびのびと成長できる社会の構築

「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成に努めるとともに、地域全体で子どもを見守る体制を構築するなど、子どもがのびのびと成長できる社会を実現します。

【具体的な事業】

- ・安心して子どもを産み育てることができる支援の充実
- ・子育て環境の整備の推進
- ・結婚を希望する方への支援の充実
- ・「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成 等

ウ 久慈市への人の流れづくり事業

○「ずっと住みたいまち」「戻ってきたいまち」の実現

久慈市と継続的かつ多様な形で関わる関係人口の創出により、地域課題解決や経済の活性化を目指します。また、当市に住み、働き、心豊かな生活を送りたい若者・女性を増やし、その希望がかなえられる生活環境を整えることにより、市外・県外への転出の抑制を目指します。

○市外・県外、外国の方にも愛着のあるまちの実現

久慈秋まつりや北限の海女、そして闘牛など伝統あるまつりやイベントは長い間、地域住民から愛され、多くの方々を魅了しています。また、「あまちゃん」のまちとして県内外はもとより海外からも訪問いただいていることから、従来のまつりやイベントの他、「あまちゃん」のまちの知名度とあわせ、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル、三陸復興国立公園、恐竜の化石などの新たな観光資源も有効に活用しながら、当市の魅力を発信し、交流の機会を創出します。

観光客の受入、おもてなし体制を強化し、市外・県外や外国の方にも愛着を持っていただけるようなまちを目指します。

【具体的な事業】

- ・ 故郷の魅力を再確認するための取組の推進
- ・ 誰もが集える場所づくり
- ・ 関係人口の創出とつながりの強化
- ・ 移住促進に向けた支援体制の整備
- ・ 体験型観光の推進
- ・ スポーツコンベンションの推進
- ・ 観光客の受入体制及び情報発信力の強化 等

エ 災害からの復興と安心・安全なまちづくり事業

○人口減少と少子高齢化に対応した持続可能な社会基盤の構築

人口減少に伴い、労働力の減少、公共サービスの質・量の低下、年齢構成のアンバランスによる社会保障分野における現役世代の負担の増大等は、地域社会に大きな影響を与えています。こうした変化に柔軟に対応し、効率的・効果的で持続可能な社会基盤を構築するとともに、安全で、安心して住み続けられる社会を実現します。

○住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる生活環境の形成

高齢者が健康で安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」を推進し、また障がい者への支援を充実させ、生きがいを持ちながら社会参加できる場づくりを推進します。

また、誰もが安心して医療機関を利用できる医療体制の充実を目指します。

○災害に強いまちづくり

東日本大震災や台風による災害からの復興を遂げ、災害に強いまちづくりを進めるため、防災体制の強化と防災施設の整備や適正な維持管理・更新を図ります。

また、再生可能エネルギーの導入促進とともに、地域経済循環の構築を目指します。

【具体的な事業】

- ・計画的なまちづくりの推進
- ・社会基盤の維持管理・更新と活用最適化
- ・地域医療体制の充実
- ・安心して生活できる環境の整備
- ・地域で支えあう体制づくり
- ・地域文化の伝承と多様な人材の活躍の場づくり
- ・災害からの復興支援の充実及び災害に強いまちづくりの推進
- ・再生可能エネルギーの整備や環境の保全・形成 等

※ なお、詳細は第2期久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

300,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年7月頃、設定した数値目標等を基に、その進捗状況や成果、課題等を産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、NPO、市民等で構成される、久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会により検証を行い、目標達成状況等について、市ホームページで公表します。久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会や市民からの意見等を踏まえ、必要な対策の追加や見直しを行い、施策事業に反映させます。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで